協働のまちづくりニュース

Vol. 8
2009. 7月号

子どもからお年寄りまで、みんなで取り組む「協働のまちづくり」!!

県内初となる農業小学校が、今年度より財光寺地区に誕生しました。この取組は、地域の大人たちの指導の下、地域に暮らす小学生が遊休地を利用して農業体験を行う事業です。土に触れ、土の匂いをかぎ、汗を流して作物を育て、収穫の喜びを実感する中で、子どもたちが成功や失敗を経験しながら、感謝の気持ちや食への関心など、多くのことを学んでいきます。このように、地域コミュニティの醸成につながる事業も「協働のまちづくり」のひとつです。

目次

P２～４　特集／市民まちづくり支援事業
　○平成 20 年度実績報告　○平成 21 年度上半期審査結果公表
P５　協働へのアプローチ
　○解説：協働のまちづくり推進ガイドブック
P６～７　市民協働課掲示板／『ひまわり日記』
P８　元気印！／「こども落語全国大会」実行委員会

平成20年度事業実績を公表します

元気で活力ある「協働のまちづくり」を推進することを目的とした「市民まちづくり支援事業」。3月31日までに、平成20年度に採択された22事業の内、19事業（3事業は中止）が完了し、事業創設3年目を終了しました。ここでは、3年目の成果と課題を検証し、事業実績を公表します。

上半期採択事業一覧（16提案事業中16事業採択）

部門	No.	事業名	総事業費（円）	補助金確定額（円）	事業内容	参加者等人数（人）	事業の効果（企画提案団体の自己評価）
地域づくり系	1	地域で育てよう！日向っ子☆街がみんなの交流起点	677,717	473,000	①チャレンジ教室（全8回）②そうめん流し＆クリーン作戦 ③こどもカフェ④オセロ大会 ほか	850	◆市民協働の促進 ◆地域コミュニティの醸成 ◆中心市街地の活性化
地域づくり系	2	日豊海岸(伊勢ヶ浜・大御神社下・鵜戸ノ瀬等)の環境美化活動	210,613	157,000	①伊勢ヶ浜海水浴場清掃②鵜戸ノ瀬海岸清掃③大御神社下流木等撤去清掃作業 ほか	300	◆環境美化 ◆美しい伊勢ヶ浜のアピール ◆地域活性化
イベント系及びその他の事業	3	第4回 わんぱく相撲日向場所（全国大会予選）	657,470	154,000	日向市・美郷町・門川町の小学生94名による学年別トーナメントの開催。	800	◆他校の生徒との交流 ◆子どもの健全育成
イベント系及びその他の事業	4	観光による日向市開発のための講演会活動	0	0	中止	0	
イベント系及びその他の事業	5	第22回 日向木挽唄全国大会	4,205,653	567,000	日向木挽唄全国大会を2日間にわたり開催。	3,300	◆日向木挽唄の伝統継承 ◆市の観光地及び特産品のPR
イベント系及びその他の事業	6	「キャプテン牧水」の耳川探検隊	1,422,500	385,000	市内小学生を対象に、1泊2日の日程でカヌーを利用した野外活動及び耳川の歴史や文化の学習。	160	◆地域コミュニティの醸成 ◆地域資源の発掘 ◆環境保護意識の向上
イベント系及びその他の事業	7	第4回七夕まつり	410,351	180,000	①七夕飾りの飾りつけ ②七夕飾り展示（作品募集、表彰） ③イベント開催 ほか	19,000	◆市内活性化 ◆協働のまちづくり推進に寄与 ◆新日向市駅のPR
イベント系及びその他の事業	8	平成20年度 日向十五夜祭り	3,933,215	1,779,000	①演芸披露②十五夜総踊り③花屋台、見立て細工展示④マーチングパレードほか	13,500	◆日向市の活性化 ◆市内観光地・地場産品のPR
イベント系及びその他の事業	9	つつじ満開！牧水の里！「来たれ！！なりきり旅人！」	451,374	212,000	歌人若山牧水の姿になりきり、ゆかりの場所の散策及び短歌作成などを行う体験型ツアーを実施。	100	◆地域活性化 ◆若山牧水顕彰 ◆観光PR
イベント系及びその他の事業	10	ひむか あかりアート展・宵祭り 2008	736,899	223,000	①廃油と美々津和紙を利用した灯篭の製作 ②あかりアート展	2,000	◆世代間交流 ◆地域活性化 ◆市のイメージアップ・観光振興
イベント系及びその他の事業	11	総合型地域スポーツクラブ	2,518,961	780,000	①スポーツ教室・文化教室の開催 ②クラブイベントの開催 ③サークル活動の支援	7,300	◆健康維持増進 ◆コミュニティの醸成
イベント系及びその他の事業	12	日向神武お舟出祭	0	0	中止	0	
イベント系及びその他の事業	13	第2回日向市長杯 のりのりカップ inお倉ケ浜	1,435,450	464,000	①サーフィンコンテスト（8クラス） ②ビーチイベント（6イベント） ③おもてなし部門（2部門）	1,000	◆日本の渚100選「お倉ケ浜」のアピール ◆サーフィン競技の普及に寄与 ◆市の観光振興の発展に寄与
イベント系及びその他の事業	14	耳川フェスタ	2,675,163	994,000	①お船出競争②うなぎ・あゆのつかみどり③大綱引④灯台巡り遊覧船⑤精霊流し⑥耳川大花火	3,700	◆地域コミュニティの醸成 ◆地域活性化 ◆地域伝統文化と観光PR
イベント系及びその他の事業	15	細島みなと祭り	2,413,727	427,000	①子ども神輿・太鼓台②東若太鼓台・南若太鼓台③巡視船体験④あじすくい⑤ひょっとこ祭りとのコラボ	23,000	◆地域活性化 ◆観光振興に寄与 ◆みなと文化の継承
イベント系及びその他の事業	16	第1回日向お舟出 九州少年親善 ソフトボール大会	1,646,460	692,000	九州各県代表チームと日向市のチームが日向市に集い、九州大会レベルのソフトボール大会を開催。	2,500	◆市の活性化 ◆市内観光地のPR ◆青少年健全育成
計	16	――	23,395,553	7,487,000	――	77,510	――

より一層の発展を目指し、補助対象経費の見直しをはじめとした制度改革に着手した20年度の支援事業に、上半期16事業、下半期6事業の合計22事業の企画提案が寄せられました。市民主体の13名の審査員からなる審査会の厳正なる審査の結果、事業創設以来初となる全提案事業（22事業）が採択されました。

補助金確定額が19年度を大きく下回りましたが、これは、19年度に採択された事業の内、政策的要素の強い3つの大きい事業が20年度から「非公募枠」に移行したことによるものです。

提案事業数も減少する結果となりましたが、不採択事業が0件だったことが示すように、しっかりとした計画性を持つ団体が増えたこと、また、自主財源のみで事業を実施する自立した団体が増えてきたことなどが大きな要因であると考えます。

夏の恒例となった七夕まつり

平成20年度のまちづくり支援事業は、補助対象経費の見直しや補助金交付限度額の減額など、更なる飛躍を目指した制度改革を行いました。

下半期採択事業一覧（6提案事業中6事業採択）

部門	No.	事業名	総事業費（円）	補助金確定額（円）	事業内容	参加者等人数（人）	事業の効果
地域づくり系	1	日豊海岸(お倉ケ浜、金ヶ浜)の自然を活かした地域活性化事業	443,091	332,000	①平岩海岸探勝道の環境整備②平岩地区活性化講演会③新春たこあげ大会inお倉ケ浜（凧作り講習）	580	◆地域コミュニティの活性化 ◆健康増進 ◆平岩地区の観光振興及び情報発信
地域づくり系	2	第3回花いっぱい夢街道日知屋地区市民植栽2008	291,252	101,000	県道細島線及び日知屋地区周辺市道へ花の植栽プランターの設置及び剪定等の管理。	200	◆地域コミュニティの活性化 ◆環境美化意識の向上
イベント系及びその他の事業	3	発信！子供の心を育む研修事業	0	0	中止	0	
イベント系及びその他の事業	4	「環境と排泄けあフォーラム'08」	787,610	262,000	①「ガイアクアトロ ジャパンツアー2008」②日本コンチネンス協会今丸氏による講演	270	◆介護現場の認識の共有 ◆問題・悩みなど情報の共有 ◆協働意識の向上
イベント系及びその他の事業	5	第6回日向アートフェスティバル	200,000	82,000	協会員と専門家指導の下での絵画、陶芸による表現活動。（展示は日向市美展と同時期）	60	◆美術への関心の向上 ◆新日向市駅のPR
イベント系及びその他の事業	6	欽ちゃん球団ゴールデンゴールズ日向キャンプ2009受入事業	4,113,806	1,833,000	①欽トレ（へべすの苗植え、麦踏）②市民歓迎会③優勝報告会④交流試合（日南市）	22,000	◆日向市の情報発信 ◆観光振興
計	6	――	5,835,759	2,610,000	――	23,110	――

平成20年度 日向市まちづくり支援事業実績【20年度予算額：13,000,000円】
●提案事業数：22事業（−8）●採択事業数：22事業（−5）●中止事業：3事業(+1)
●総事業費合計：29,231,312円 ●補助金確定額合計：10,097,000円（−13,889,000円）
※（）は前年度比較

新たな課題と継続課題

提案事業の成熟など、3年目の成果が見えてきた一方で、新たな課題も浮き彫りになりました。

それは、審査する側の問題です。具体的には、審査委員が関係する提案事業の審査方法や審査会での質疑のルールについてです。これらは、事業が成熟してきたが故に浮き彫りになった問題といえるでしょう。

また、自主財源の不足による事業の中止や規模の縮小といった問題や、継続事業における前年度からのフィードバック機会の欠如など、前年度から引き続き抱える課題もあり、今後の懸案事項となっています。

課題解決に向けた取組

平成20年度秋、これらの課題を解決すべく、同審査会では「平成21年度に向けての日向市市民まちづくり支援事業見直し検討会」を開催しました。これは、事業創設以降初めての試みです。

検討会の中では、補助金交付要綱や審査会審査要領の見直しなどの法規的な部分から、審査会の際の心得といった心情的な問題まで、幅広い分野について意見交換がなされました。そして、次年度にそれらの意見を反映させるため、要綱等の改正を行いました。

今まで無かった新たな取組も多く生まれました。（平岩地区振興会の取組）

更なる飛躍のために

事業創設4年目に向けての大きな見直しとして、地域づくり系事業「モデル事業」部門とイベント系及びその他の事業「伝統的事業」部門の新設が上げられます。これらは、検討会の中でも課題として上がった「自主財源確保の困難さ」や「伝統継承・保存に対する支援」といった問題を解決すべく創設されたものです。これにより、本事業の所期の目的である「元気で活力ある協働のまちづくり」がより一層推進されることが期待されます。

今後とも、「新しい総合計画」、「協働のまちづくり指針」、「新しい補助金交付制度」等との整合を図りながら、地域コミュニティ、市民活動団体等にとってよりよい制度となるよう、また、市民に愛され共に歩んでいける制度を目指して事業を推進していきます。

平成21年度上半期 日向市市民まちづくり支援事業

部門	No.	団体名	事業名	区分	総事業費（円）	補助金採択額（円）	事業内容
地域づくり系事業	1	財光寺農業小学校	さあ、始めよう農業小学校	モデル	520,000	443,000	食育の場として、休耕地を利用した農業体験活動。財光寺地区の小学4、5年生を参加対象として、地域の方の協力を得ながら参加者それぞれが、季節の野菜などを栽培し、自然の恵みの大切さを学ぶ。
	2	寺迫区公民館	寺迫ひまわりコミュニティプロジェクト	モデル	534,000	475,000	地域福祉力の向上と商工観光振興を目的として、休耕地を利用した日向市の花『ひまわり』の植栽を区民全員で取り組む。観賞会には多くの観光客を招致し、日向市の1観光地としての定着を目指す。
	3	特定非営利活動法人こども遊センター	人を知る・日向を知る"ふるさと交流体験"事業	拡大	668,000	406,000	小・中・高校生の子どもたちが、市内各地域で様々な体験活動を通して日向市の良さを学習する。市内中心市街地で「街なかクリーン作戦」、細島地区で「細島探訪」及び庄手地区で「米作り体験」を実施する。
	4	財光寺地区ゴミの減量を考える会	財光寺地区のゴミ減量を推進し生ゴミを堆肥化する運動	新規	750,000	475,000	ごみ減量化推進のため、財光寺地区の1地区をモデル地区として、EM菌を利用した生ごみの堆肥化に努める。堆肥化したものは、空き地を利用した家庭菜園等へ利用。同時にごみの出し方等の指導も実施する。
イベント系及びその他の事業	5	日向十五夜祭奉賛会	平成21年度　日向十五夜祭り	伝統的	4,000,000	1,900,000	県北三大祭りの一つで、本市屈指の歴史と伝統の祭り。特設ステージでの演芸、舞踊隊、十五夜音頭総踊り、地場産品販売等を行い、花屋台や見立て細工を展示する。
	6	細島みなと祭奉賛会	細島みなと祭り	伝統的	2,302,277	475,000	細島商業港をメイン会場に細島地区民挙げての100年の歴史と伝統の祭りであり、太鼓台・神輿の巡行、漁船パレード、ステージを使った演芸大会等を行う。
	7	日向市南部振興会	耳川フェスタ		2,683,697	817,000	耳川を媒体として、流域の交流を意図した「筏くだり」地域の神話伝統に根ざした「神武お舟出競争」、「耳川大綱引き」などを盛り込んだ祭り。祭りの集大成として、花火大会を実施する。
	8	日向市民ふるさと花火大会実行委員会	日向市民ふるさと花火大会	新規	8,100,000	3,269,000	市民のコミュニケーションを図りながら郷土愛を育むとともに、市及び地域の活性化を目指しながら、新市のまちづくりに寄与することを目的として、細島商業港において全市民の全市民による花火大会を実施する。
	9	特定非営利活動法人リバーシブル日向	'09「キャプテン牧水」の耳川探検隊		1,120,960	299,000	小学生を対象に、自然環境保護の意識向上を目的として、地域の方々と触れ合いながら1泊2日のワークキャンプを実施。カヌー体験やセルフレスキュー等のプログラムを行う。
	10	「ワーキングホリデー IN 日向」実行委員会	「ワーキングホリデーIN日向」リーダー養成、モニターツアー	新規	2,620,000	721,000	地球温暖化防止活動を目的とした耳川流域の森林環境保全活動と体験・滞在型観光を推進する「ワーキングホリデーIN日向」を実施するためのリーダー養成及びモニターツアーを実施する。
	11	七夕まつり実行委員会	「第5回」七夕まつり	拡大	650,000	282,000	伝統的祭りであった『七夕まつり』の復活を目的として、市内各保育園、幼稚園等から七夕飾りを募集し、駅西口キャノピー下に飾り付けを行う。6/27には、西口駅前広場をメインにオープニングイベントを実施する。
	12	美々津遊悠玉手箱実行委員会	みていきなんせ　あそんでいきなんせ美々津遊悠玉手箱	新規	800,000	286,000	美々津町地区の観光PR及び人とのふれあいを大切にしたまちづくりを目指すことを目的として、美々津の町並みを舞台に日本古来からの大道芸人が集い、昔ながらの遊びを通したイベントを実施する。
	13	日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会実行委員会	第2回　日向お舟出九州少年親善ソフトボール大会		1,190,000	490,000	「ソフトボールの街・日向市」の観光PR及び青少年の健全育成を目的として、九州各県代表チームと日向市内のチーム計40チームが集い、2日間の日程で九州大会レベルのソフトボール大会を実施する。
	14	日向ふれあい演奏会実行委員会	日向ふれあい演奏会	新規	1,157,256	397,000	陸上自衛隊第8音楽隊を日向に招き、市内中・高校吹奏楽部と合同の「日向ふれあいコンサート」を開催する。また、市内中・高校吹奏楽部生徒に楽器の演奏指導を行い、教育及び文化振興の意欲向上を図る。
	15	日向木挽唄全国大会実行委員会	第23回　日向木挽唄全国大会		3,996,227	450,000	日向木挽唄の伝承、本市観光PR、地域活性化につなげるイベントとして、2日間にわたり文化交流センターをメイン会場に、民謡「日向木挽唄」の歌唱力を競う大会を開催する。
	16	「こども落語全国大会」実行委員会	～お笑い発祥の地・宮崎～　ひむかの国こども落語全国大会	新規	3,800,000	1,644,000	落語の文化振興、子どもたちの文化的・社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的として、小・中学生対象の子ども落語全国大会を開催する。2日間の日程で大会を行い、2日目にはプロ芸の披露もある。
	17	社団法人日向青年会議所	第5回わんぱく相撲日向場所	拡大	860,000	181,000	国技である相撲を通して、子供たちの心身の鍛錬と礼儀作法を学びとる場として大会を開催する。予選会では、学年別トーナメント戦を実施し、4～6年生の優勝者（男子）は、全国大会（両国国技館）へ出場する。
	18	日向市東郷町若山牧水顕彰会	牧水を支えた歌人　若山喜志子顕彰事業	新規	2,470,000	418,000	牧水・喜志子顕彰の充実と観光拠点としての充実を図ることを目的として、歌人若山牧水と牧水を支えた喜志子の歌による「夫婦歌碑」の宮崎県第1号を建設、記念講演を開催する。
	19	あくがれて牧水実行委員会	つつじ満開！牧水の里！「来たれ！！なりきり旅人！」		500,000	190,000	「若山牧水」という郷土の偉人を学んでもらうとともに、参加者が若山牧水の姿になりきり、牧水ゆかりの場所の散策や短歌作成などを行う体験ツアーを実施する。
	20	NPO法人新生ひむか公社	細島港湾都市　フロンティア事業	新規	1,000,000	304,000	細島港湾の振興と日向市の発展のため、細島商業港、細島の町並み等の観光資源を市内外にPRするための、市民集会、出前講座、港頭地域の緑化事業を実施する。
	21	日向お倉ケ浜のりのりカップ実行委員会	第3回　日向市長杯　のりのりカップinお倉ケ浜	拡大	1,962,455	517,000	絶好のサーフポイントとして県内外から多くのサーファーが訪れるお倉ケ浜で、全国から参加者を募集してサーフィン大会を開催する。また、サーフィンへの理解と普及促進を目的としたサーフィンスクールを実施する。
計	21	――	――	――	41,684,872	14,439,000	――

速報！上半期採択事業

創設4年目を迎えた「市民まちづくり支援事業」の上半期募集に対し、地域づくり系事業に4事業、イベント系及びその他の事業に17事業の応募があり、全事業が採択されました。

上半期最大の特徴は、新規事業の誕生です。提案事業21事業中10事業が新たに産声を上げました。特に、地域づくり系事業は4事業中3事業が新規提案事業となり、これからの地域の活性化が非常に期待されます。

また、今年度から新たに、「モデル事業枠」（地域づくり系事業）、「伝統的事業枠」（イベント系及びその他の事業）を新設するなど、より一層の発展を目指した改革を行いました。

7月からは下半期の募集が始まります。詳細は裏表紙にも記載していますので、ご覧ください。

非常に高い評価を得た新規事業「こども落語全国大会」実行委員会の公開プレゼンテーション風景

協働へのアプローチ

協働の手引書第2弾!! 協働のまちづくり推進ガイドブックを作成しました！

地方分権の進展や市民ニーズの高度化・多様化、また、厳しい財政状況等の中で、市民と行政それぞれが持つ専門的知識や技術などの特性を生かし、市民がお互いに、あるいは、市民と行政が協力して課題解決を目指す「協働のまちづくり」に取り組んでいくことが求められています。

本市でも、「新しい日向市総合計画」の中で、「市民との協働」を基本理念のひとつとしていますが、これまで「協働」についての方向性を明確に示したものがありませんでした。

そのようなことから、市民と行政が同じ方向に向かって進めるよう、「協働」の共通の手引書として「協働のまちづくり指針」を平成19年11月に策定しましたが、平成21年3月、「協働」についてさらに理解を深める手引書の第2弾として、協働の実践の具体的な手順と今後の推進プログラムをまとめた「協働のまちづくり推進ガイドブック」を作成しました。

この指針とガイドブック双方をうまく活用して「協働」についての理解と認識を深め、「共に学び・共に育ち・共に変わる」を合言葉に、「協働のまちづくり」を推進していきましょう。

ガイドブックの役割

協働のまちづくりが求められる背景については、これまでも繰り返し説明してきましたが、では、協働のまちづくりにおけるこのガイドブックの役割とは一体何なのでしょうか。

このガイドブックの持つ大きな役割のひとつに、市職員向けの実務手引書としての役割があります。

これからの本市は、市民と行政が適切な役割分担のもとに協力し合う協働のまちづくりの実践によって、地域の特徴を生かした市民主体の地域社会の実現を目指しており、協働のまちづくりを市政運営の基本とするため、全庁的な取組を始めたところです。

このガイドブックを活用することで、市職員が協働に対する理解を深め、協働のまちづくりを推進し、市民と対等な関係を築いていくことこそ、このガイドブックに求められる大きな役割のひとつです。

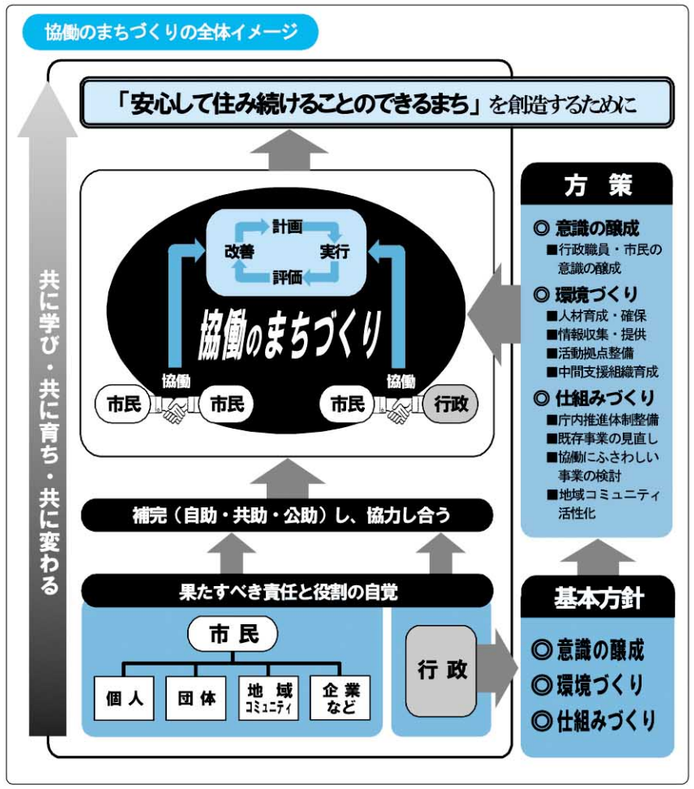
ガイドブックの構成

このガイドブックは、協働のまちづくり推進の3つのステップを、段階的に実践できるような内容で構成しています。

「ステップ1」では、協働のまちづくりの基礎知識を、「ステップ2」では、協働実践のキーワードと留意点を、「ステップ3」では、協働事業の一連の流れと実践事例をまとめています。

さらに、本市の現状と課題を検証し、これからの協働のまちづくりの具体策を記した「協働のまちづくり推進プログラム」も併せて掲載しました。

このガイドブックは、「協働のまちづくり」ホームページに掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。



平成20年度 日向市ひまわり基金事業の事業実績を公表します

No.	団体名	事業名	総事業費	補助金確定額	事業実績
1	天地祭り実行委員会	天地祭り	700,000	90,000	【目　　的】日向岬グリーンパーク活用促進、施設・景観の素晴らしさを市民に再認識してもらう。 【実 施 日】８月１７日　【実施場所】日向岬グリーンパーク　【参加者】５００人 【事業内容】和太鼓競演、お笑い芸人「オードリー」ステージ、屋台広場開設 【成　　果】雨が一時的に降ったが、予定どおり実施できた。予想以上に入場者も多く、子どもたちのたくさんの笑顔が見れ、また、グリーンパークの素晴らしさを改めて実感することができた。
2	耳川文化の会	耳川渡し場跡記念碑建立	450,000	90,000	【目　　的】耳川文化史保存、市民への文化の伝承、観光資源化 【建 立 日】７月～８月末　【建立場所】東郷町八重原、同舟戸、美々津立磐神社前 【事業内容】上記建立場所に記念碑を計３基建立 【成　　果】予定どおり建立することができた。今後、目的達成のため、また、先人の生きた生活文化史をたどる指標とするとともに、環境資源の保護・保存の啓発に努めていきたい。
3	ＮＰＯ法人こども遊センター	くぼた☆まさと工作ショー	230,800	90,000	【目　　的】ＮＰＯ法人設立５周年記念、市民交流の場の創出 【実 施 日】８月１７日　【実施場所】日向商工会館　市民交流プラザ　【参加者】９８人 【事業内容】くぼた☆まさと工作ショー開催、市民・親子の交流 【成　　果】わくわくと目を輝かせている子どもたちが多く見られた。身近にある割り箸や新聞紙を使ったおもちゃや、ビニール袋でできるゲームもあり、エコ意識の高揚にもつながった。
4	まちなかハロウィン実行委員会	まちなかハロウィン	503,037	100,000	【目　　的】子どもたちが主役となって、ハロウィンで様々な体験をし、まちを育てる心を育てる。 【実 施 日】１０月２５日　【実施場所】日向市駅前中心市街地　【参加者】８，５００人 【事業内容】仮装コンテスト、ダンス、おばけツアー、手づくりゲームコーナー、こどもカフェほか 【成　　果】親子のコミュニケーションの醸成、まちなかの賑わいの創出が図られるなど、様々な業種の市民で組織された実行委員会の「市民の力」が十分に発揮できた。今後のまちづくりに弾みになっていくものと思われる。
5	魅力のまち発掘プロジェクト	まちなかハロウィン前夜祭	578,000	100,000	【目　　的】海外の伝統的な音楽・文化に触れてハロウィンを楽しみ、まちなかの活性化につなげる。 【実 施 日】１０月２２日　【実施場所】大番パチンコ北側立体駐車場　【参加者】１６０人 【事業内容】野外ライブ（南米楽器での演奏）、ジャグリングパフォーマンス 【成　　果】予定していた入場者数に達しなかったことなど反省点も多いが、遊休の立体駐車場でのイベント実施という新しい着眼点を見い出すことができた。
6	同心館　日向	第１０回神武ひむか空手道練成大会	815,000	90,000	【目　　的】空手道による県内外の交流と子どもの健全育成 【実 施 日】１１月３０日　【実施場所】市文化交流センター　【参加者】５１３人 【事業内容】学年別形・組手トーナメント戦 【成　　果】第１０回記念大会として、有意義に実施することができ、青少年の健全育成に寄与することができた。
7	ＮＰＯ法人リバーシブル日向	「一家一品・一芸」大賞	300,000	中止	【目　　的】地域の「存在感のあるお年寄り」発掘、埋もれた伝統文化・郷土料理発掘、特産品創出 【実 施 日】－　【実施場所】－ ※平成２１年３月３１日中止申請（全事業が年度内に実施できなかったため）・同日承認
8	財光寺地区ゴミの減量を考える会	財光寺地区のゴミ減量を推進し生ゴミを堆肥化する運動	200,000	100,000	【目　　的】ゴミ減量化、ゴミに対する意識改革、生ゴミ資源化・堆肥化した後の使用方法の指導 【実 施 日】１月～３月末　【実施場所】財光寺地区　【参加世帯】モニター３０世帯 【事業内容】生ゴミ処理モニターテスト（ＥＭ菌を使用した生ゴミ堆肥化）、学校へのゴミ問題説明会ほか 【成　　果】多くの地区民の協力が得られ、目的を達成するきっかけづくりができた。今後、燃えるゴミの資源化率向上により、大幅なゴミの削減に取り組み、本市財政改革に貢献していきたい。
9	八坂区	八坂区　花いっぱい事業	200,000	90,000	【目　　的】地域の環境美化と世代間交流の促進 【実 施 日】３月２９日　【実施場所】細島・八坂区内　【参加者】１００人 【事業内容】プランター１００鉢に花植栽、海の駅前ほか地区内にプランター設置 【成　　果】区民の交流親睦が図られるとともに、今後のプランター管理を自発的に行っていくことで、連帯感や地域意識が高まり、安心安全な温かいまちづくりのきっかけづくりになった。
10	12街区協議会	１２街区　グランドオープンイベント	210,000	90,000	【目　　的】区画整理事業による上町１２街区整備完了ＰＲ、まちなかの賑わい創出 【実 施 日】３月２８日　【実施場所】上町１２街区　【参加者】４００人 【事業内容】豚汁ふるまい、綿菓子プレゼント、もちまき、太鼓演奏、ちびっ子落語、吹奏楽演奏ほか 【成　　果】多くのメディアに取り上げられ、予想以上の参加者で賑わうなど、目的をほぼ達成できたと感じている。
	計		4,186,837	840,000	

市民活動助成事業

平成20年度ひまわり基金事業・市民活動助成事業には、前年度の4団体を大きく上回る10団体からの申請があり、事業を中止した1団体を除くすべての団体が事業を完了しました。

20年度は特筆すべき新規事業が誕生しました。それは、魅力のまち発掘プロジェクトが開催した「まちなかハロウィン前夜祭」という事業です。本市の秋の恒例行事に「まちなかハロウィン」というイベントがありますが、このイベントがきっかけとなって誕生したのが、「まちなかハロウィン前夜祭」です。本家とは全く別の団体が関連事業を実施するというこの流れは協働のまちづくりにおけるひとつのモデルケースとなりえる動きではないでしょうか。その証拠に、20年度は本家である「まちなかハロウィン」の参加者も倍増するという相乗効果を生んでいます。

また、20年度の提案事業の特徴として、地域住民みんなで協力して取り組む事業が多かったことが上げられます。

財光寺地区ゴミの減量を考える会が行った「財光寺地区のゴミ減量を推進し生ゴミを堆肥化する運動」では、ＥＭ菌を使用した生ゴミ堆肥化を、多くの地区民の協力を得て実施しました。

細島地区の八坂区が行った「八坂区花いっぱい事業」では、約100人の区民が参加し、地域の環境美化と世代間交流を行いました。

12街区協議会が行った「12街区グランドオープンイベント」では、区画整理事業による整備完了のＰＲのため、地域総出で事業を実施しました。

20年度に新たに生まれた「まちなかハロウィン前夜祭」。イベントが新たなイベントを生んだ協働の先進事例と言えます。

こちらは本家の「まちなかハロウィン」。本市の秋を代表する恒例のイベントへと発展しました。

NPO法人設立支援事業

「誰かの役に立つことがしたい」。そういう熱意を持って活動している団体等が新たに特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）を設立する際に、それらに要する経費の一部を助成する『ＮＰＯ法人設立支援事業』。本市では平成20年度に新たに4つのＮＰＯ法人が誕生しました。

各ＮＰＯ法人への助成一覧は左記のとおりです。

No.	団体情報	総事業費（円）	補助金確定額（円）	特定非営利活動の種類	特定非営利活動に係る事業
1	【団体名】リバーシブル日向 【構成人数】１３人 【設立年月日】平成２０年３月２１日	372,000	200,000	①社会教育の推進を図る事業 ②環境の保全を図る活動 ③子どもの健全育成を図る活動　など	①海川に親しむ水辺の環境整備事業 ②地域の和船の調査・研究・復元建造及び造船技術調査・研究事業　など
2	【団体名】日向みんなの図書館 【構成人数】１２人 【設立年月日】平成２０年８月７日	255,000	200,000	①社会教育の推進を図る事業 ②学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ③子どもの健全育成を図る活動など	①読書推進事業 ②図書館関係団体のネットワーク化の事業 ③学校図書館との連携事業　など
3	【団体名】ひむかの会 【構成人数】１８人 【設立年月日】平成２０年８月１２日	261,000	200,000	①環境の保全を図る活動 ②人権の擁護又は平和の推進を図る活動 ③消費者の保護を図る活動　など	①自然に学びながらの自然環境、クリーンエネルギーに関する事業 ②文化活動をとおしての人権擁護、平和の推進事業　など
4	【団体名】あったかほーむ愛あい 【構成人数】１８人 【設立年月日】平成２０年１０月２２日	700,000	200,000	①保健、医療又は福祉の増進を図る活動 ②人権の擁護又は平和の推進を図る活動　など	①小規模多機能型居宅介護事業 ②介護保険法に基づく事業 ③障害者自立支援法に基づく事業　など
計		1,588,000	800,000		

市民活動団体リーダー養成事業

旧「ひまわり塾事業」の発展的改変と位置づけ、市内における公益的な活動を担う人材を養成する「市民活動団体リーダー養成事業」。事業開始2年目となった平成20年度同事業に、19年度からの継続参加者6人を含む16人の受講生が集まり、まちづくりについて学びました。

平成20年度は、「市民向け講演会の開催」と「自主企画事業の実施」を事業の2大目標に設定し、6月に開講しました。

開講後、外部講師を迎えての「まちづくり講座」やテーマ選定のためのワークショップを行い、年間テーマを「食を通じたまちづくり」、「環境を考えたまちづくり」とした受講生たちは、それらの分野で先進事例といわれるイベントや地域の取組を視察しました。受講生を2つのグループに分け、1班は福岡県久留米市で開催されたB級グルメの祭典「B－1グランプリ」を、もう1班は高知県馬路村の「柚子のまちづくり」と広島大学の「エコ・グリーンマップ」の取組を視察し、本市への還元方法を探りました。

そのような取組の中で、「市民向け講演会」として、熊本県熊本市でまちづくりコンサルタントとして活躍中の前田芳男氏の講演会を8月に、また、前述の「ひまわり塾事業」で塾頭を務めた経験を持ち、現在は総務省過疎問題懇談会委員を務める安藤周治氏の講演会を1月に開催し、多くの市民に参加していただくことができました。

また、市内の市民活動団体と連携し、他団体主催の事業のサポーターを務めるなどの活動も行いました。

事業の締めくくりとして2月に開催した自主企画事業「グリーンマップ公開講座」では、視察研修で訪問した広島大学准教授・千代章一郎氏を本市に招き、参加者全員で中心市街地を散策した後、独自のアイコンを用いたエコ・グリーンマップを作成しました。参加者からは、「こういう取組の存在自体を知らなかった。参加してよかった。」といった感想が多く聞かれました。

3月に行われた修了式をもって平成20年度受講生の取組は終了しましたが、10ヵ月という長い期間を通して様々なことを学んだ修了生たちのこれからの取組を、市は応援していきます。

日向版まちづくりについて真剣に討論する受講生たち

自主企画事業の「グリーンマップ公開講座」の参加者

編集後記

エディターズノート

▼今年度、第１回目の情報紙編集でした。今回は、どのコーナーも平成20年度報告が中心となっていて文章中心の構成となっています。次号はもっと写真も載せたいと思います。▼上記のリーダー養成事業。21年度事業の担当として事業に参加しますが、私も受講生の方々と一緒に、たくさんのことを学びたいです。

〈し〉

元気印

「こども落語全国大会」実行委員会

所在地　日向市文化交流センター内
代　表　那　須　久　司さん
連絡先　５４－６１１１(事務局・黒木さん)

お笑い発祥の地・宮崎の一大イベントとして私たちは今回、８月１日（土）、２日（日）に第１回「ひむかの国こども落語全国大会」（会場/日向市文化交流センター）を企画しました。当日は、全国各地の子供落語家が日向市に集結し、得意の噺（はなし）を披露します。落語のネタは、笑える噺から泣かせる噺まで幅広く、情緒に富み、世代を問わず広がりを見せ、近年ブームといえる盛り上がりを見せています。私たちお笑い発祥の地に住む者が、落語をどう生かせるかを考えた時、青少年の情操教育に有効であること、また、今に生きる青少年は将来的に落語を広める可能性があることを考え、大会を企画・開催するに至りました。現在まで１０回以上の会議を行い、準備を進めています。当日は、ぜひ会場にお越し下さい。落語を通しての喜び、幸せ、感謝の気持ちを分かち合うことができたなら、私たちの何よりの幸せです。

第1回
ひむかの国こども落語
全国大会

平成２１年
8月1日（土）
13:00～17:00　**予選大会**
8月2日（日）
13:00～14:30　**決勝大会**
15:30～　**ファミリー寄席**
会　場
日向市文化交流センター

那須実行委員長をはじめ、多くの実行委員会メンバーが、全国初の取組に向け、汗を流しています。（写真左は、専門部会での１コマ）

日向市市民まちづくり支援事業

下半期実施事業募集スタート!!

市民主体による元気で活力あるまちづくりを推進するため、市民の皆さんが知恵を出し合い、地域の特色を生かして自ら企画し運営するまちづくり支援事業の下半期分（平成２１年１０月～平成２２年３月実施）を広く市民活動団体等から募集します。

市民まちづくり支援事業審査会で採択された事業に対して、補助金を交付します。

●応募できる団体

（１）市内に活動拠点を有する非営利活動団体（ＮＰＯ法人・市民団体、ボランティアグループ、自治会等）であること。
（２）５人以上の会員で組織していること。
（３）組織の運営に関する規約等があること。
（４）宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと。
（５）暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと。

●募集事業の内容

（１）市又は市内特定地域（以下「市・地域」という。）の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
（２）市・地域の特色を生かした事業
（３）市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

●事業の部門及び補助率、補助金交付限度額

（１）地域づくり系事業「一般事業」（特定地域での環境美化、防犯、助け合い等のコミュニティの活性化及び醸成につながる事業）
◆補助率　３／４以内　　◆限度額　５０万円
（２）イベント系事業及びその他の事業「一般事業」（市内全域対象の祭り、スポーツ大会、講演会、文化芸術の発表会、展覧会のイベント）
◆補助率　１／２以内　　◆限度額　５００万円
（３）イベント系及びその他の事業「伝統的事業」（市内において、概ね５０年以上継続して開催され、将来にわたり継承すべき伝統的イベント）
◆補助率　１／２以内　　◆限度額　５００万円

●提出書類

①事業企画提案書　②事業計画書　③事業収支予算書
④事業提案団体概要書　⑤団体の運営に関する規約等
⑥会員名簿　⑦前年度事業収支決算書（活動実績のある団体のみ）

●応募期限

平成２１年７月１日（水）～平成２１年７月３１日（金）

●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がありましたら、お気軽に市民協働課（☎５２－２１１１　内線２８５３）までお問い合わせください。

また、市民まちづくり支援事業補助金交付要綱（様式含む。）、同募集要項並びに同審査会審査要領の全文を「協働のまちづくり」ホームページに掲載していますのでご覧ください。

写真は、財光寺地区のごみ減量に向けた取組です。ＥＭ菌を応用したＥＭボカシづくりなど、地域を挙げてごみ減量に取り組んでいます。

詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください！

日向市　協働のまちづくり　検索

発行／平成２１年７月１日
日向市 企画政策部 市民協働課　〒883-8555 日向市本町１０番５号
TEL 52－2111(内線2853)　FAX 56－0018
協働のまちづくりニュース　７月号